

第4回議会報告会の報告書



2012年5月

内容

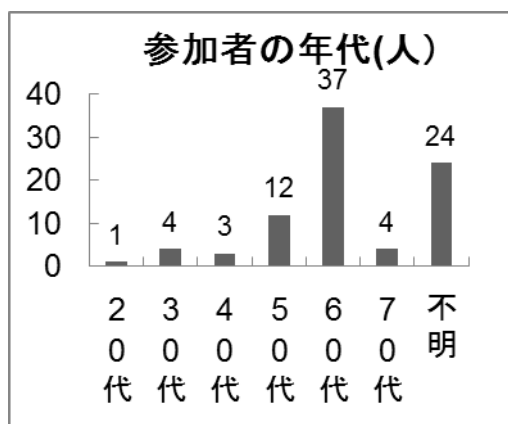
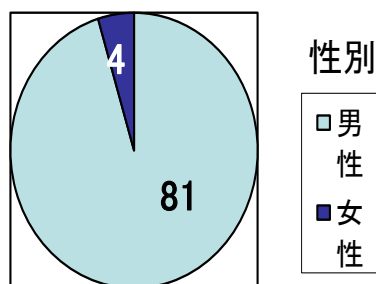
- 1) 平成24年度町の予算について
- 2) 教育委員会の委員の任命について
- 3) 議会基本条例の制定について
- 4) 意見交換

1 開催日時・場所

5月 8日	午後7時から	片岡会館	参加者15人
5月 9日	午後7時から	自彊館	参加者27人
5月17日	午後7時から	川尻会館	参加者19人
5月18日	午後7時から	住吉会館	参加者24人

2 参加者

合計 85人



3 参加者アンケート結果 (62人回答・一部意見を抜粋)

問1 この議会報告会があることを、何で知りましたか。

①自治会・町内会	②議員	③回覧板	④その他
37人	4人	10人	11人

問2 町の予算に関する報告はいかがでしたか。

①よく理解できた	②理解できた	③理解できなかった	④無回答
4人	46人	6人	6人

○片岡会館

- ・津波防災事業に多額の予算を計上しているが、一般の町政に影響は出ないのか。
- ・実質公債費比率が18%を超えることはないのか。
- ・説明に合わせたある程度の資料がほしい。
- ・細かい所は必要ない、主なものの説明で良い。

○自彊館

- ・北区全体の公共下水道事業は、どうなっているのか。

○川尻会館

- ・交通事故が増加している、通学路などで信号や横断歩道など、対策が必要。
- ・議会だよりで報告されている、少し説明が長いのでは。

○住吉会館

- ・津波避難タワーの今後の予算、町債、国庫補助金の内容は。
- ・町債を借入している金融機関はどこか。

問3 教育委員会の委員に関する報告はいかがでしたか。

①よく理解できた	②理解できた	③理解できなかった	④無回答
3人	29人	26人	4人

○片岡会館

- ・人事案件については、当局と議会はもっと慎重な対応を求めたい。
- ・対立の構図が、透けて見える。
- ・水面下での交渉等で早く決めないと、町民にとって不幸である。
- ・町長の説明内容を、議員が十分に承知していないとすれば、理解し難い。
- ・若手に該当者はいないのか。町として人材がないのは寂しいし、残念である。
- ・早期に決める方向で進めてほしい。
- ・教育委員の任命を報告会のテーマに掲げている以上、理解できるような回答をお願いしたい。

○自彊館

- ・教育委員の任命に対して、反対の流れが少し分かった。
- ・町の教育界のトップの不在は信じがたい、教育の方向性が定まっていないかと不安である。
- ・年齢だけの理由で否決するのは如何なものか、条件（1年限定）で認めて、その後については継続的に審議する。

○川尻会館

- ・高齢だけで反対するのは如何かと思う。反対者の意見がわからない。
- ・ふさわしい人物だと思うので、再度考えて任命していただきたい。
- ・質問や意見をした住民の方の考えがよく理解できたが、議員さんの説明は不十分である。
- ・未来を担う子供達の健全育成の指針を示すことができるような方を選んでほしい。
- ・人物本位で選ばれるべき、反対された理由がやや不明である。

○住吉会館

- ・町長の上程理由に、候補者の考えが見えない。
- ・退職した方がよい。民間から選任してもよいではないか。
- ・賛成者は過去の実績のみ、反対者は年齢のみによる意見で、各個人の考えだ

けのような気がする。

- ・反対理由が抽象的、もっと具体的な理由を。
- ・欠員状態で、どのように、いつまでに決めるのか、案はあるのか。

問4 意見交換はいかがでしたか。

①よく理解できた	②理解できた	③理解できなかった	④無回答
2人	29人	16人	15人

○片岡会館

- ・次回は準備して参加したい。
- ・議会側も何とかする努力をするべきだ。
- ・本日の課題に合わない質問があり、意見交換の場にならなかった。

○自彊館

- ・意見交換を充実すること。

○川尻会館

- ・時間が不足しているので、テーマを決めて実施した方がよい。
- ・すみれ保育園につくしの家同様の保育施設を増やすだけでなく、内容の充実が大切だと思います。

○住吉会館

(アンケートへの意見なし)

問5 今後、どのような内容の議会報告を希望しますか。

○片岡会館

- ・予算等については、もう少し資料を加えてくださると聞きやすい。
- ・住民の意識改革につながる報告。
- ・明確な回答をわかり易く説明してもらいたい。

○自彊館

- ・原発に関すること。
- ・全員議員に、積極的に発言してもらえる議会報告。
- ・町のホットな話題や問題点等を、ざっくばらんに話が聞きたい。
- ・専門的な言葉ではなく、わかりやすい説明をしてほしい。
- ・報告事項は簡素に、意見交換を主体とした議会報告会を希望する。

○川尻会館

- ・細部についても、発表していただきたい。

○住吉会館

- ・上程議案の項目を、より多く説明するようお願いする。

問6 町議会に対して何を望まれますか。

○片岡会館

- ・出席者が少なかった。もっと区民が関心をもてるようにしてほしい。
- ・町民が真に何を望んでいるか把握してほしい。
- ・議案については活発な議論を経て議決されることは、良いことで期待します。
- ・この努力を継続してください。

○自彊館

- ・意見交換の場があるのはありがたい、ただし、一方的になりがちなのはどうか。
- ・議員にとって聞きづらい内容もあると思うが、町民の代表として、町民が感じていることを知っておくことは必要である。
- ・町のその時その時の問題をテーマにする。
- ・企業誘致はどのように考えているか。
- ・新しい道路が開通した時は問題点があると思うので、議員も現場確認をした方が良い。
- ・行政が停滞しないよう、大人の対応を願いたい。

○川尻会館

- ・今後の浜岡原発への対応は。
- ・参加者が少ないのが残念である。
- ・福祉に力を入れていただきたい。
- ・もっとはっきりと答弁してほしい。
- ・適材適所の人材を選出しないと、大きくマイナスになる可能性があるので、参考にしていただきたい。特に教育というものは経験が必要になってくるので、新しい人を選ぶ場合は、難しい問題が出てくるのではないのでしょうか。

○住吉会館

- ・議員の個々の意見を全体の前で聞きたい。
- ・中電、原発説明会の実施をお願いします。
- ・中学校の夏休みの問題について、議会として取り上げる気持ちはありませんか。
- ・町民の代表であるとの認識で、議会活動をしっかりやってほしい。
- ・委員会、議会で議員の意見に対して当局の回答がないことは、事後の確認が無いからです。フィードバックを行うこと。

4 質疑内容（一部概要の報告）

(1) 片岡会館 5月7日



ア 平成24年度まちの予算に関して

Q：津波防災の防災資機材整備事業の中にワンタッチトイレの購入が記載されている。どのようなものか？片岡自治体でも購入する予定なので、参考にしたい。

A：どのようなものかに関して予算の説明時には伺っていないので、具体的には報告できない。早急に当局に確認して自治体に連絡する。

Q：津波防災関連事業が9億7千数百万円、そのうち新規事業が9億4千数百万円となっている。その差額は前年度からやられていたものと思うが、それは何。

A：資料「津波防災事業」の表中の「継続」となっている事業、例えば、防災行政無線保守点検等が挙げられる。

Q：予算中、津波防災関連予算を引けば、その他の予算は約1億数千万円減っている。その主なものは。それを減らしたことによる支障はないのか。

A：事業として終わったもの、必要の無いものあり、全体的に見て支障はないと考えている。

Q：吉田町の津波防災総合計画は策定されているのか。津波避難タワーに関して何カ年かけてやるのか、総額いくら位になるのか。

A：津波防災に関する基本計画に関して、質疑の中で当局に聞いたが、答えは「出来るだけ早く」としか返ってこなかったので、詳細は不明である。ただし、津波避難タワーに関しては、ここ3年間で15基作るとのことで、現在該当する各町内会の住民への説明会を始めたところである。

イ 教育委員会の委員の任命について

Q：資料に「まちは特色ある教育環境を整える改革を手がけている最中である」とか「学習指導要領変更に対するバックアップ体制の強化と中学校の実態に対して断固とした態度で望むことである」とか書いてあるが、そこを具体的に説明して欲しい。

A：中学校に冷房を入れたことや障害者教育に関することだと思うが、詳しくは総合計画の目標に掲げられたことだと思う。

Q：教育長が不在であることは、あってはならないことであると思う。この状況を作ったのは議会の責任であると思う。この状況を議会としてはどう考えているのか。

A：議会が任命することはできないので、町長が探してきて上程されれば、議会は審議する。しかし、教育長がいない事はまちの教育行政に対してはマイナスだと思う。現在は教育委員会事務局長が教育長の代行を行っているが、早く新しい候補の方を探して頂きたいと思っている。

Q：教育長は重要なポジションである。吉田町に関しては、吉田高校・大井川高校統廃合の問題がある。これは流れていっているので、現実的にはその跡地利用をどうするか、県全体で考えれば教職員の不祥事等取り組まなければならない教育の問題は多い。教育長不在は町民にとって不利益である。議会と行政の対立もあるのでしょうけど、議会からも町長に対して前向きな話し合いを持っていただき、教育長不在の状況を早く解消していただきたいと思う。

A：町長に町民の不利益にならないように早く候補者を見つけて欲しいと、機会ごとに話をしています。

ウ 意見交換

Q：放射能はどこまでが問題ないか不明。学校給食は毎日検査して欲しい。住吉小学校で普通に生活している以上の数値が検出された。土壌調査をして欲しい。

A：議会も関心を持っているので、審議の中で確認していきます。

(2) 自彊館 5月9日



ア 平成24年度まちの予算に関して

Q：都市計画税は、何ですか。

A：都市計画法に基づいて行う街路や、下水道整備等の都市計画事業や、土地
区画整理法に基づいて行う土地区画整理に要する費用に、充てるための目
的税です。

Q：広報よしだ4月号に都市計画税について書いてありましたが、今後の都市
計画の具体的内容がわからない。

A：総合計画に基づき、毎年度見直しのローリングを行いながら3カ年の実施
計画を提示しています。

Q：3月末に津波避難計画がまとまったそうだが、北区のどこに津波避難タワ
ーを作るのか。

A：津波ハザードマップなどに基づき、浸水想定域を20区画に区切りました。
そのうち15区画に作る予定です。本年度は3区画に1基ずつ建設しま
すが、北区は浸水想定域に入っておりませんので、予定されていません。現
在当局が、詳しい説明を該当する町内会ごとに行っています。

Q：町債が11億円あり、全体の12%になりますがどのようなものに使われ
ますか。

A：すみれ保育園建設2億1千7百万円、水産基盤整備1千2百万円、土木債3億6千3百万円、避難タワーなど消防債2億3千3百万円、臨時財政対策債3億5千万円で、総額11億8千2百万円となります。

Q：国保会計の資料を見ると、基金残高が減っている。年金からは、税金を引かれ生活が大変で、今のままだと保険税が上がるのが心配である。

A：医療費が年々増加傾向にあります、なぜ増えるのかを町だけでなく、町民全体で考えなければならぬと考えます。医療費が上がれば、結果としてその分を賄うために、税を上げなければなりません。いかに値上げを遅くするか、医療費削減を我々自身でも考えていく必要を感じています。

Q：県から職員の派遣を受けて、税の徴収率を上げる説明を受けたが、滞納整理機構の利用状況は。

A：町税の滞納に関して、滞納整理機構を使って行っています。毎年5件ぐらい利用しています。

Q：後期高齢者医療費の値上げについて、負担が増えることに対して反対してほしかった。毎年負担が増え続けている。軽減措置はどのようなものなのか。

A：県内の市町が加入する静岡県後期高齢者医療広域連合が主体となり運営しています。高齢者の保険料負担は、医療給付に要する費用の概ね一割です。その保険料は、低所得などに対して継続して軽減措置が取られています。

イ 教育委員会の委員の任命について

Q：教育長にふさわしくない主な理由は何ですか。

A：今回の人事案件は、教育委員の任命です。教育長は、教育委員会において教育委員の互選で選ばれます。なお、吉田町の教育委員の定数は5人です。詳しくは、資料に書いてある通りですが、これからの吉田町の教育の在り方について、新しい方に担っていただき新しい力で改革を行って頂きたい考えと、今までの経験を生かし継続して改革に当たって頂きたい考えの、二つの意見に分かれました。

Q：教育に対してどのようなお考えを持っているのですか。

A：個々の議員の教育観は、皆違うと思います。決まったことの報告を行うのが議会報告会ですのでここで述べることは差し控えます。終了後であれば、考えを述べさせていただきます。

Q：中学校の冷暖房設備の完備や小中学生の医療費助成であるなど、子供達に手厚いシステムがあり、吉田町は進んでいると感動しています。中学の入学式で、教育長が不在ということで、父兄として非常にショックで不安であります。これからの吉田町の子供達のことを思って、早く教育長の選任

をしていただきたい。

A：まさしくその通りです。我々も、一日でも早く教育委員の候補を挙げて頂き、吉田町の教育を引っ張って頂きたいと考えています。我々からこの方と言えません。任命権に関わり出来ません。議案上程を待っています。気持ちは同じです。

ウ 意見交換

Q：議会に上程する前に、行政が動き出してすべてが決まっているような話を聞いたことがあり、町民の税金を使うに当たりおかしくないか。議会に前もって話が必要と考えるが。

A：上程前に決まっていることはありません。誤解の無い様をお願いします。緊急の場合は、臨時会を開き議決の後に、入札を行い執行しています。なお、事前の報告や説明につきましては、議会基本条例に関連して議会と行政の範囲区分を含めて意見交換を行っているところです。

Q：個々の議員の意見を聞く場がほしい。せつかくこれだけの方々が集まっている中で、意見交換の時間を設けてある。議会報告会を一度締めてからそのような時間を作ってはどうでしょうか。ぜひとも検討していただきたい。

A：ご提案を参考に、今後どのような方法がよいか検討していきます。

Q：決まった報告でなく、決まる前に町民に問題提起する。行政から投げかけられた事があれば、事前に町民に流す、「みなさんは、どう思われますか？」など町民をもっと巻き込む。それから予算を取って頂けば、非常にわかり易いと思います。報告では、結果論でしかない。町民が聞きたいことではない。聞いてもどうすることもできない。町民が考える余裕を下さい。

A：我々もそのような形で反映できればと、考えています。議会報告会で、決算の報告を行い、その中で頂いた意見を、次の予算に活かしたいと考えています。そのような形のサイクルが回れば、議会改革も進んでいくと考えています。まだ、試行錯誤しながら進行中ですので、今後もアドバイスをお願いいたします。

Q：高齢者が、昨年末から交通事故で続けて亡くなっている。私は検証に立ち会っているが、議員の姿が見えない。

A：個々の情報網がしっかりして無かったために、参加できませんでした。今後はアンテナを高くして、情報収集に努め、参加するようにします。そして交通事故を防ぐ対策を検証していきます。また、その様なときに情報を頂けるように、警察や交通安全関係にお願いしていきます。

Q：小学校の子供を持つ親ですが、福島由来の放射能について不安です。最近、300万円で放射能測定器を購入して、10分間で検査を行うようになり、

毎日検査を行っている自治体があります。吉田町は、月に一回しか給食の検査を行ってなくて大変心配です。また土壌調査を行っていません。

A：当初は給食の検査を行っていませんでしたが、町民の皆様の声や議会での質疑などを経て、小中学校と保育園において行うようになっていきます。安心を得るために今後も議会で取り上げて確認していきます。また、周りの近隣市が土壌放射能調査を行い異常がないので、吉田町は安全と判断して、土壌調査を行っていません。今後も、頂きました声を質疑に反映していきたいと思います。

(3) 川尻会館 5月17日



ア 平成24年度まちの予算に関して

Q：東日本大震災以降土地の評価額が下落しているが、歳入減はどのくらいか。

A：評価替により土地の固定資産評価額が13.5%下落している、また、企業の設備投資の手控えにより償却資産も13.9%下落した。そのため固定資産税は前年度より8.7%歳入が減っている。

Q：すみれ保育園建設事業は25年度で終了か、建設場所はどこか候補地はあるのか。

A：平成24年度は用地取得整備・設計を手がける。現在地より減災できる場所に計画し、平成25年度に完成予定と伺っている。

Q：問屋川の3・4年前の台風被害を踏まえての改修工事は。

A：町の治水計画の中において第一番目に問屋川を整備する計画は、昨年の東日本大震災により優先順位が変わりました。町が、津波防災計画を第一としたため、問屋川の整備計画は消滅したわけではありません。24年度予算には整備事業費は計上されていませんが、浚渫事業において問屋川整備事業は実施されていく計画です。

Q：浜田土地区画整理区域内の土地価格は、土地の評価額が下落しているのか。

A：土地価格は下落していますが榛南幹線・東名川尻幹線・海岸防潮堤などを整備して、土地価格が下落しないように事業計画を進めて行く予定です。

イ 教育委員会の委員の任命について

Q：不同意は高齢などの問題において否決されたが、議員は代替候補者を提案したか。

A：代替候補者は提案しない。町長が教育委員を指名して議会に上程され、議会が審議し決めることになっている。教育委員候補者は、あくまでも町長が指名をする。

Q：議会が否決した場合は、議会に責任があるのでは。議員は80歳まで議員が務まるのか。健康を維持できる自信はあるのか。

A：議員は、任期途中で健康上に問題があり、議員の職務が務まらなければ、辞任していく。

Q：教育委員（教育長）不在でいいのか。

A：不在でいいわけがなく、不在は大きな問題と認識し、苦慮しています。

Q：議員が教育委員候補者を探してきたらどうか。

A：議会は、町長から提案された議案を審査する議事機関です。町長が一刻も早く新しい教育委員を指名して頂き、議案として上程をして頂くのを待っています。

Q：吉田町広報（広報よしだ）と議会広報（議会だより）と内容は一緒か。

A：一緒だと思います。

Q：議会の反対の理由が分からない。教育長不在で子どもが可哀そう。昨年から今までにおいて教育長として何か不適切な行為があったのか。年齢だけでは否決の理由にはならないのではないのか。議長が最終的に反対にした理由をお聞きしたい。

A：教育委員会は教育の中立性の観点から独立した機関であり、あるべき姿が正しいかどうか疑問を持ちました。また、賛否同数で過半数の同意が得られていない状況下において判断いたしました。

Q：教育基本法なども改正されそれに対応できないのではないかと、判断してよろしいか。従って、新しい法律に反対をしないと受け取れます。牧之原市は、新しい教科書を作る会の教科書を採用すると聞いている。悪い方向に向かうのではないか。

A：議会報告会ですので、教育に対する個人的な意見への回答は控えさせていただきます。個人的な意見は、終了後にお聞きください。

ウ 意見交換

Q：国民健康保険事業においては人間ドック検査料の補助がありましたが、後期高齢者医療事業においては補助がありませんこれは何故でしょうか。

A：後期高齢者医療事業においては75歳以上および65歳以上75歳未満障害者の方々の医療費を国民全体で賄う事業です。このために様々な問題点があり、国も保険制度改革について協議を行っております。

(4) 住吉会館 5月18日



ア 平成24年度まちの予算に関して

Q：榛原総合病院について、現状をお聞きしたい。

A：平成21年から22年には危機的状態であった。徳洲会に指定管理者をお願いして2年、現在は徐々によくなってきています。構成市町議員懇談会において、病院の状況について、説明を受けています。現在は、医師19

人で、今年度中に医師一人増・看護師12人増の予定と聞いています。近隣の基幹病院の中でも、内容が良いと伺っています。

Q：津波対策ができて、原発事故が起きたら心配である。中電を呼んで、町民向けの説明会を早急にやってほしい。

A：説明会については、中電に対して常々、積極的に自主的にやるべきと言っている。それが誠意ある在り方と考えている。今後も説明会を働きかけます。

Q：道路上に津波避難タワーは、良い考えである。タワーにソーラー照明等付ければと思うが。

A：避難タワーは、3年間で整備します。それと同時に国に対して、8.7メートルに耐える防潮堤を働きかけています。要望等は、町が開催しています説明会の時にご提案頂くか、防災課が受付していますので、お願いいたします。ご意見の内容は、議会からも伝えます。

Q：小学校の子供を持つ親ですが、給食の放射能検査について、月1回では心配です。回数を増やしてほしい事と、学校の運動場の土壌調査を、行政にお願いしたい。

A：今後も町民の安心を得るために、ご意見を参考にして議会で取り上げて確認していきたいと思えます。

イ 教育委員会の委員の任命について

Q：どのような理由で否決されたのですか。年齢75歳、後輩に道を譲るべき等の意見ですが、他に理由があるならば、明確な理由を聞きたい。

A：個々の議員が色々な情報を集め、判断した結果であります。議会は多数決の合議体であり、決定後は、それが議会の意思となります。それぞれの考えや意見については、質疑や討論で述べています。議決後は、議事内容や過程についての説明と決定した内容についての報告となります。議員個々の考えは、個別に確認して下さい。

Q：教育の独自性、教育は国家100年の計である。首長が変わるたびに教育長が変わると現場が混乱する。チェック機関として議会であり、同意権を盾にしてはならない、政治の教育への介入ではないか。教育長を公選にしてはどうか。

A：昭和23年の教育委員会法では、教育委員を住民からの公選と一部議会から選出し、教育委員会会議で教育長を任命していました。その後昭和31年の地方教育行政法により、公選制と議会選出は廃止された経緯があります。大まかな改正は、住民から公選された首長が教育委員を任命し、同じく公選された議会が同意する形となっています。そして教育長は、教育委

員会会議が、教育委員のうちから任命します。そのように改正されて今に至っています。ですから教育への政治介入はできません。

ウ 意見交換

Q：浸水地区の住吉川尻地区で行う行事やイベント（オアシス祭り・凧揚げ・花火大会等）について、多数の人達の安全確保のために、今後の在り方を考えるべきでないか。

A：今、町では避難計画を策定中ですので、その中で検討されていると思いますが、議会でも詳細について、確認していきます。

Q：津波防災対策について伺いたい。避難タワーを整備していくには、相当時間がかかる。いつ来るか分からないのに人命を、どのように救うのか。ソフト面での対応も、必要でないか。

A：津波の想定が崩れ、新たに作成したハザードマップの基にハードの整備を進めていますが、それと同時に、ソフト面を検討した避難計画になると思います。自助・共助・公助の中、特に自主防災会の役割が増してきており、議会としてもハードソフトの両面から、チェックしていきます。